

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 1 月 13 日

アンケート期間:令和 2 年 11 月 1 日～令和 2 年 12 月 30 日

事業所名 おひさま

保護者等数(児童数) 38人 回収数 26人 割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	5		3	・活発なでもう少し広げれば良いなと思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	3		4	・配置数については分からない。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	5		6		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	3		3		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	1		1	・支援計画はこちらの悩みなども聞いてくれながら作成していただけて助かっている。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	3		2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	3				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	3		3	・色々な体験をさせてもらっている。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	3	14		
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1		1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	23	3				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	8	3	5		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	2		2	・連絡ノートに記入されていて、分かりやすいです。 ・面談とまではいかないが、日誌でのやりとりと送迎時の立ち話にてアドバイスをもらっています。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	7	3	3	・送りの時などいつも話をすることが出来ている。	
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	13	11	・情報が入っていないので分かりません。 ・父母の会は無くても問題ありません。		

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22			4	・相談など伝えた当日は対応してくれるが、持続はしていない様に思う。 ・連絡ノートのやりとりなど、相談させていただいていつも助かっています。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	4			いつも送迎の時に『変わりはないですか？』など気にかけていただけて嬉しいです。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	5	1	8	・HPに写真など活動の様子が見られたいなと思います。 ・帰って来たら連絡ノートを見るのが楽しみです。本人から説明してくれないこともあるので、話すのにノートがあると助かります。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	21	2				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	9	1	8		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	6		10	・訓練はぜひお願いしたい。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19	2		2	・泣いたりすることもありますが、少しずつ楽しめたらと思う。 ・そうでは時もあるかもしれないが、帰りはいつも笑顔です。 ・すごく楽しみにしているようで行く気満々です。	
	23	事業所の支援に満足しているか	20	3			・トイレトレーニングをしてくれたり満足している。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 1 月 8 日

公表:令和 3 年 1 月 13 日

事業所名 おひさま

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・人数が多い日には部屋を分けて対応している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		・原則、マンツーマンでの支援を行っている。	・昼食時は職員の補助を増やしていく。(特に新規利用や多動の激しい児童がいる場合。)
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・バリアフリーではないが、身辺整理など、子ども達が見て、自ら取り組めるよう環境を整えている。 ・つい立を使い部屋を仕切り、活動スペースを分けている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・日々の掃除を丁寧に行うようしている。又、コロナ禍を踏まえ、アルコール消毒も常に行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	・非常勤の出勤時間や送迎の都合等で時間が合う事が少ないが、メモに残すなどで伝言を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・今回のアンケートを基に改善を図っていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者が介入することがないので今後の課題として検討する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	・それぞれの職員が事業所で用意している研修教材を基に取り組んでいる。	・コロナ禍により機会を設ける事は少ないが、少人数で各職員が順次行えるよう努める。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者の願いや思いを取り入れ作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・対処法など、各自時間がある時に使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインに沿いつつ、保護者の思いや願いを基に支援計画を立てている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・計画書を常に確認できる場所に保管しており、その都度確認している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている		○	・決まった職員ではあるが、話し合いの場を設けている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・一人一人の子どもの状態、季節に応じた活動が出来るよう対応している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・児童の発達状況等踏まえた上で保護者と相談して作成を行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・送迎等で職員が集まったの情報共有は難しいが、ホワイトボードなどで役割分担の確認をし、情報共有を心掛けている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・個別記録で確認をしている。又、特別な事があった際は速やかに伝達している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・経過記録やお手紙で残している。経過記録を見れば、個人の課題が分かるようにしている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年毎に保護者と話し合いを行い、成長段階に合わせて見直しを行っている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・保護者の要望に応じて行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	・現在、医療ケアの必要な児童は不在。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		・保護者の要望に応じて対応していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		・現在、希望者はいないが、要望に応じて対応していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・研修とまではいかないが、連携を取っている児童がいる。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・公園に行った際は一緒に活動する機会がある。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・特定の職員が代表して参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡ノート、手紙、電話、送迎時など様々な手段で共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		・希望に応じて対応していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・お手紙や電話で問い合わせがあれば随時対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・保護者からの要望がない為、現在は対応していない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・お手紙や電話で問い合わせがあれば随時対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	・会報の発行はしていないが、保護者の希望に応じて、活動の様子などを知らせている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・スタッフ間で個人情報の取り扱いについて学ぶ機会を設けている。書類等は鍵付き書庫にて保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・個々に合わせて分かりやすい方法で伝えるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・個人情報などを考慮し、行うかは要検討。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		・訓練、マニュアルなどはあるが、保護者へマニュアル等の配布は行っておらず、今後、周知の仕方等検討して実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・半年に一回実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に確認を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・アレルギーについては保護者の聞き取りのみ行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・回覧形式で実施している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	・研修機会は持っていないが、日常的に子どもと接しながら話し合っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			・今までに拘束するようなケースがなく、行う事はない。今後そのような事態に直面した際は事前の話し合いと、書面に残していくよう徹底する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。